

解剖学 (1)

教授 松田健史
助教授 森沢佐歳
助手 武田公道
助手 篠原治道

◆ 原著

1) Shinohara H., Noda M., Kima M. and Matsuda T. : Surface topography of granulosa cells accompanied by fragmented oocytes. *Experientia* **39** : 772-773, 1983.

2) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功, 松田健史, 森沢佐歳 : 発達著明な胸骨筋の1例. 法医学の実際と研究 **25** : 109-112, 1982.

3) 松田健史, 森沢佐歳, 津島邦彦, 武田公男, 篠原治道, 戸島雅宏, 中林智之, 中谷壽男, 相模嘉夫, 窪田叔子 : 女性下顎骨の成長について. 成長 **21** : 49-57, 1982.

4) 坂下栄作, 松田健史, 森沢佐歳 : 哺乳類の小進化-食肉目の歯を中心として. 成長 **21** : 58-68, 1982.

5) 森沢佐歳, 松田健史 : 頭川城ヶ平横穴墓群及び頭川古墓出土人骨について. 頭川城ヶ平横穴墓群 : 10-14, 1983.

6) 森沢佐歳 : 三ヶ尻林遺跡古墳出土の人骨について. 上越新幹線埋蔵文化財発掘調査報告 **23** : 213-217, 1983.

◆ 総説

1) 半田順俊, 大倉興司, 荻田善一, 角谷哲司, 北川照男, 寺脇 保, 中嶋八良, 藤木典生, 松田健史 : 遺伝相談ネットワーク委員会報告. 人類遺伝学雑誌 **27** : 357-365, 1982.

◆ 学会報告

1) 岡 伸夫, 平尾正人, 遠藤俊郎, 高久 晃, 森沢佐歳 : 実験的水頭症における血管構築. 文部省科研総合研究 小児水頭症の病態及び治療法 第四回班会議, 1983, 1, 東京.

2) 土井ちえ子, 新畑マサ子, 阿部八代江, 中川秀幸, 佐竹礼子, 松田健史 : 青年の先天障害予防に関する意識調査. 第17回富山県公衆衛生学会, 1983, 3, 富山.

3) 森沢佐歳, 松田健史, 武田公男, 篠原治道 : 女性下顎骨の成長について. 第88回日本解剖学会総会, 1983, 4, 大阪.

4) 正橋剛二, 松田健史 : 種痘法の北陸路への導

入. 第5回北陸医史学同好会, 1983, 6, 金沢.

5) 松田健史, 清水規矩雄, 森沢佐歳, 武田公男, 篠原治道, 中谷壽男, 松井 晶 : 舌小帯短縮症の家系分析 (予報). 第7回臨床遺伝研究会, 1983, 7, 東京.

6) 松井 晶, 天田憲夫, 星野哲也, 鈴木喜久夫, 鈴木 豊, 松田健史, 森沢佐歳, 中谷壽男 : Potter I型囊胞腎の1例. 第7回臨床遺伝研究会, 1983, 7, 東京.

7) 松田健史, 森沢佐歳, 清水規矩雄, 武田公男, 篠原治道, 中谷壽男 : 舌小帯短縮症の遺伝分析. 日本解剖学会第43回中部地方会, 1983, 9, 名古屋.

8) 松田健史 : 遺伝性疾患と看護職のかかわり. 第3回東海北陸地区看護研究学会, 1983, 10, 富山.

9) 松田健史, 清水規矩雄, 森沢佐歳, 武田公男, 篠原治道, 中谷壽男, 中林智之, 戸島雅宏 : 先天性舌小帯短縮症の遺伝形式の推定. 第4回北陸先天異常研究会, 1983, 10, 金沢.

10) 松井 晶, 天田憲夫, 星野哲也, 鈴木喜久夫, 鈴木 豊, 松田健史, 中谷壽男 : Potter I型囊胞腎の1例. 第28回人類遺伝学会, 1983, 11, 宝塚.

11) 松田健史, 館野政也, 中川秀幸, 西部行雄, 松島昭広 : 富山県における遺伝相談の現況. 第11回北陸公衆衛生学会, 1983, 12, 富山.

◆ その他

1) 松田健史 : 「献体」により深いご理解を. とやま県医報 **851** : 21, 1983.

2) 松田健史 : 第14回成長談話会大会を主催して. 富山医薬大学園だより **15** : 11, 1983.

3) 松田健史 : 高瀬武平先生の思い出. 北陸医史 **5** : 28-29, 1983.

4) 松田健史, 篠原治道, 森沢佐歳, 武田公男 : 卵巢内卵の解析-卵細胞の分葉と放出について. とやま県医報 **852** : 18-20, 1983.

解剖学 (2)

教授 高屋 憲一
助教授 木村 通郎
助手 宮田 堅司
文部技官 新井 陽子

◆ 原著

1) Miyata K. and Takaya K. : Vacuoles in macrophages and reticular cells of regional lymph nodes of the rat after injection of large doses of

steroids; Cell Tissue Res.230: 57-65, 1983.

2) Kimura M.: An immunoelectron microscopic study of immunoglobulin G in the postcapillary venules of normal and nude mouse lymph nodes; Immunology 49: 223-229, 1983.

3) Takaya K.: Energy dispersive X-ray microanalysis of platelets and megakaryocytes of several mammals using air-dried spreads and fresh frozen dried sections; 10th international congress on X-ray optics and microanalysis 10: 133, 1983.

◆ 総 説

高屋憲一: 生物試料のX線マイクロアナリシス—未固定新鮮試料による—. 生体の科学 34: 137-142, 1983.

◆ 学会報告とその抄録

1) 木村通郎, 笹川五十次, 高屋憲一: 数種ケツ歯類肥満細胞の微細構造. 解剖学雑誌 58: 106, 1983.

2) 宮田堅司, 高木淑子, 高屋憲一: フェリチン投与後のラット所属リンパ節の微細構造. 解剖学雑誌 58: 107, 1983.

3) 高屋憲一: カニクイザル血小板 dense bodies の分析電子顕微鏡によるカルシウムと燐の検出. 解剖学雑誌 58: 109, 1983.

4) 木村通郎: リンパ組織毛細血管後小静脈内皮細胞に関する免疫電顕的観察. 第88回日本解剖学会総会, 1983, 4, 高槻. (抄録) 解剖学雑誌 58: 359, 1983.

5) 宮田堅司, 高木淑子, 高屋憲一: フェリチンとデキストラン鉄のラットリンパ節細網細胞とマクロファージの取り込み. 第88回日本解剖学会総会, 1983, 4, 高槻. (抄録) 解剖学雑誌 58: 366, 1983.

6) 高屋憲一: 数種哺乳動物血小板と巨核球のX線微小部分析. 第88回日本解剖学会総会, 1983, 4, 高槻. (抄録) 解剖学雑誌 58: 472, 1983.

7) 宮田堅司, 高屋憲一: ラットリンパ節細網細胞による肥満細胞顆粒の取り込み. 日本電子顕微鏡学会第39回学術講演会, 1983, 5, 名古屋. (Abstract) Phagocytosis of mast cell granules by reticular cells in the rat lymph node. J. Electron Microsc. 32: 254, 1983.

8) 木村通郎: 腸リンパ組織毛細血管後小静脈でのIgA保有リンパ球に関する免疫電顕的観察. 日本電子顕微鏡学会第39回学術講演会, 1983, 5, 名古屋. (Abstract) An immunoelectron microscopic

observation of IgA containing cells in postcapillary venules of mouse gut-associated by lymphoid tissues. J. Electron Microsc. 32: 254, 1983.

9) 高屋憲一: 新鮮凍結乾燥切片を用いた電解質元素の定量的X線微小部分析. 日本電子顕微鏡学会第39回学術講演会, 1983, 5, 名古屋. (Abstract) Quantitative energy dispersive X-ray microanalysis of animal tissues with X-650 using fresh frozen dried sections. J. Electron Microsc. 32: 278, 1983.

10) Takaya K. and Miyata K.: Iron metabolism of the reticular cell of the rat lymph node sinus as studied by electron microscopy. 5th International Congress of IMMUNOLOGY, 1983, 8, Kyoto.

11) Kimura M.: An immunoelectron microscopic study of endothelium-associated IgG in the postcapillary venules of normal and nude mouse lymphoid tissues. 5th International Congress of IMMUNOLOGY, 1983, 8, Kyoto.

12) Miyata K. and Takaya K.: Phagocytosis of mast cell granules by reticular cells and macrophages in the rat lymph node studied by electron microscopy. 5th International Congress of IMMUNOLOGY, 1983, 8, Kyoto.

13) Takaya K.: Energy dispersive X-ray microanalysis of platelets and megakaryocytes of several mammals using air-dried spreads and fresh frozen dried sections. The 10th International Congress of X-ray optics and microanalysis, 9, Toulouse.

14) 木村通郎: マウスパイエル板のIgA-, IgG-保有細胞の免疫電顕的検索. 日本解剖学会第43回中部地方会, 1983, 9, 豊明.

15) 沢田石 勝, 新井陽子, 宮田堅司, 高屋憲一: ラット肝門脈域の肥満細胞と好塩基球の増加. 日本解剖学会第43回中部地方会, 1983, 9, 豊明.

16) 高屋憲一: X線微量局所分析. 日本電子顕微鏡学会第29回シンポジウム, 1983, 10, 松本.

17) 木村通郎: パイエル板毛細血管後小静脈内皮細胞とIgA細胞の接着に関する免疫電顕的観察. 第24回日本組織細胞化学総会, 1983, 10, 名古屋.

18) 高屋憲一: カエル色素細胞果粒のEDSとWDSによるX線微小部分析. 第24回日本組織細胞化学総会, 1983, 10, 名古屋.

19) 笹川五十次, 宮田堅司, 高屋憲一: ラット精

子のX線微小部分分析。第24回日本組織細胞化学会総会, 1983, 10, 名古屋。

20) 宮田堅司, 高屋憲一: HRPおよびフェリチン投与後のラットリンパ節細胞の酸性フォスファターゼ活性。第24回日本組織細胞化学会総会, 1983, 10, 名古屋。

生 理 学 (1)

教 授 川 崎 匡
助 授 本 間 信 治
助 手 佐 藤 悠
助 手 梅 野 克 身
文部技官 五十嵐 勝 美

◆ 著 書

川崎 匡: 小脳の生理—片葉を中心として。「めまい—臨床の基本—」小池吉郎監修, 鈴木淳一他編, 259—311, 現代医療社, 1983。

◆ 原 著

1) Homma, S.: Physiology and pharmacology of putative transmitters in lamprey central nervous system. *Progr. Neurobiol.* **20**: 287—311, 1983.

2) Sato, Y., Kawasaki, T. and Ikarashi, K.: Afferent projections from the brainstem to the three floccular zones in cats. I. Climbing fiber projections. *Brain Res.* **272**: 27-36, 1983.

3) Sato, Y., Kawasaki, T. and Ikarashi, K.: Afferent projections from the brainstem to the three floccular zones in cats. II. Mossy fiber projections. *Brain Res.* **272**: 37—48, 1983.

◆ 総 説

川崎 匡, 佐藤 悠: 小脳片葉と視運動性眼振—緩徐相速度との関連—。 *Equilibrium Res.* **42**: 79—85, 1983.

◆ その 他

1) 久野 宗, 宮田雄平, 本間信治: 無筋紡錘感覚神経の中枢シナプス伝達。 *生理学研究所年報*, **4**: 68—69, 1983.

2) 久野 宗, 宮田雄平, 本間信治, 小川正晴: 感覚神経細胞の栄養因子に関する研究。 *生理学研究所年報* **4**: 186—188, 1983.

◆ 学会報告

1) 佐藤 悠, 川崎 匡: 小脳片葉マイクロゾーンへの投射。第6回日本神経科学学術集会, 1983, 1, 京都。

2) Homma, S. and Sekiya, S.: Effects of bath-applied aminoacids and their analogues on spinal giant interneurons of lamprey. 第60回日本生理学会大会, 1983, 4, 大阪。

3) Umeno, K. and Kwasaki, T.: Specialized structures of Schwann cell processes in the excess terminals of soleus muscle. 第60回日本生理学会大会, 1983, 4, 大阪。

4) Umeno, K.: Fine structures of electron-dense lamellated membrane sheets observed in the end-plates of mice soleus muscles during the period of elimination of polyneuronal innervation. 第39回日本電子顕微鏡学会, 1983, 6, 名古屋。

5) 山本文昭, 佐藤 悠, 将積日出夫, 川崎 匡: 眼球運動に関連したネコ小脳片葉の機能的局在。第42回日本平衡神経科学会総会, 1983, 9, 弘前。

6) 川崎 匡: 視運動性眼振における小脳片葉の役割について。第42回日本平衡神経科学会総会, 1983, 9, 弘前。

7) 山本文昭, 佐藤 悠, 将積日出夫, 川崎 匡: 眼球運動におけるネコ小脳片葉の機能的局在と前庭核 groupy の役割。第4回国際眼研究会議日本部会, 1983, 12, 京都。

生 理 学 (2)

教 授 小 野 武 年
助 授 西 野 仁 雄
助 手 佐 々 木 和 男
助 手 福 田 正 治
文部技官 松 山 晴 子

◆ 著 書

1) 小野武年: 本能行動。「脳の科学II」中村嘉男, 酒田英夫編, 85—122, 朝倉書店, 1983.

2) 小野武年, 西野仁雄: 中枢神経系—I. 脊髓, III. 間脳, IV. 大脳辺縁系「臨床生理学」高田明和, 本田西男, 森田之大編, 106—122, 129—160, 医歯薬出版, 1983.

3) 西野仁雄: 摂食行動と大脳基底核。「脳と運動」伊藤正男編, 331—355, 平凡社, 1983.

◆ 原 著

1) Sasaki, K., Ono, T., Nishino, H., Fukuda, M. and Muramoto, K-I.: A method for long-term artifact-free recording of single unit activity in freely moving, eating and drinking animals. *J. Neurosci. Meth.* **7**: 43—47, 1983.